

化学品の名称	メカファインメイト (A)
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2016年 8月23日

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称	: メカファインメイト (エアゾール)
製品コード	: C-g 011
会社名	: 日本メカケミカル株式会社
住所	: 愛知県豊川市穂ノ原3丁目2番23
電話番号	: (0533) 84-3245
緊急連絡電話番号	: (0533) 84-3245
FAX番号	: (0533) 84-3429
電子メールアドレス	: collect@nichi-mecha.co.jp
推奨用途と使用上の制限	: 金型・精密部品・電極のドライジェット洗浄剤

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	分類対象外
可燃性／引火性ガス	分類対象外
可燃性／引火性エアゾール	区分2
支燃性／酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類できない
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過氧化物	分類対象外

健康に対する有害性

金属腐食性物質	分類できない
急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	分類できない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉塵)	分類対象外
急性毒性 (吸入: ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分2
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1 (中枢神経系、呼吸器)
	区分3 (麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1 (中枢神経系、肝臓、神経系)

化学品の名称	メカファインメイト (A)
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2016年 8月23日

環境に対する有害性 吸引性呼吸器有害性 分類できない
水生環境有害性・急性 区分2
水生環境有害性・慢性 区分2
オゾン層への有害性 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル : 炎 感嘆符 健康有害性 環境



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 可燃性又は引火性の高いエアゾール
高圧容器：熱すると破裂のおそれ
皮膚刺激
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
中枢神経系、呼吸器の障害
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、肝臓、神経系の障害

注意書き

: 長期継続的影響によって水生生物に毒性
【安全対策】
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。
一禁煙。
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
【応急措置】
皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。

化学品の名称	メカフィンメイト (A)
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2016年 8月23日

【保管 (貯蔵)】

施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。

日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。

【廃棄】

内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物
成分及び含有量

化学名 又は一般名	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示 整理番号		PRTR 法	労働安全 衛生法	毒物劇物 取締法
			化審法	安衛法			
ジクロロメタン	63~66	75-09-2	(2)-36		1種	表示・通知	非該当
ブタン	21~24	106-97-8	(2)-4		非該当	表示・通知	非該当
プロパン	6~9	74-98-6	(2)-3		非該当	非該当	非該当
炭化水素	非公開	非公開	既存	既存	非該当	非該当	非該当

不純物及び安定化添加物

化学名 又は一般名	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示 整理番号		PRTR 法	労働安全 衛生法	毒物劇物 取締法
			化審法	安衛法			
酸化プロピレン	0.1	75-56-9	(2)-219		非該当	表示・通知	非該当

【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移す。身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の石鹸水で洗い流し、必要に応じて医師の手当を受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出そうとはならない。
水で口の中を洗浄し、速やかに医師の手当を受けること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : 液状の液化石油ガスが皮膚に付着した場合は凍傷となる。
眼、皮膚に対する接触で発赤、痛み、薬傷、吸入により、めまい、し眠、頭痛、吐き気、脱力感、意識喪失。
- 応急措置をする者の保護 : 火気に注意する。現場ではガスを吸入したり、皮膚に触れたり、眼に入ったりしないように適切な保護具を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : 現在までのところ有用な情報無し。

【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 粉末・炭酸ガス・泡・霧状水

化学品の名称	メカファインメイト (A)
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2016年 8月23日

- 使ってはならない消火剤 : 消火に棒状の水を用いてはならない。火災を拡大し危険な場合がある。
- 特有の危険有害性 : 加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガス（塩素、塩化水素、ホスゲン、一酸化炭素等）を発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 1. 火元への燃焼源を断つ。
2. 初期の火災には粉末、炭酸ガス消化剤を用いる。
3. 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
4. 周辺火災の場合、液が気化してエアゾール容器内の圧力が上がり容器が破裂する可能性がある。直ちに容器を火元より遠ざける。取り除くのが困難な場合には消火活動に十分な距離をとること。
5. 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には風上から行う。
火災時、通風の悪い場所には製品の蒸気及び塩化水素、ホスゲン等の有毒ガスが存在するので、消火作業従事者は自給式空気呼吸器等の呼吸保護具及び防護服を着用して消火作業を行う。

【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 風下の人を待避させる。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
屋内の場合には、処理が終わるまで十分換気をする。
作業の際は有機ガス用防毒マスクまたはガス濃度が高い時は自給式空気呼吸器の保護具を着用し、並びに目及び皮膚へ目・皮膚・衣服との接触を避けるために適切な保護具を着用して作業を行う。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が、下水、排水溝へ流出、また地下へ浸透することを防止する。
万一公共用水域等に流出した場合等、必要がある時は関係行政機関に連絡する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 着火源となるものを取り除く。
必要に応じた換気を確保する。
少量の場合、砂、布、活性炭などに吸収させて密閉できる空容器に回収する。少量で危険がない時は、蒸発させる。(十分な換気をする。)
大量の場合、盛土で囲って、河川等への流出や地下への浸透のない安全な場所に導いてから、処理する。
容器からの流出の防止を行う。
ポンプ等により回収して密栓できる金属容器へ移し換え、回収できなかったものについては、活性炭等による吸着、布等による拭き取りを行う。
吸着または吸収したものは、特別管理産業廃棄物として適切な方法により処分する。

化学品の名称	メカファインメイト (A)
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2016年 8月23日

- 二次災害の防止策
- : すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
 - 漏えい個所の漏れを止める。
 - ガス及び蒸気は空気より比重が重く滞留のおそれがあるので、換気・拡散 等を行う。
 - 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い
- 技術的対策
- : 容器を転倒させたり、衝撃を与えるなどの粗暴な取り扱いはしないこと。
 - 静電気、衝撃火花などによる着火源の生じないように注意すること。
 - 炎・火花・高温体との接触又は加熱を避ける。
 - 取扱い場所の床面等は、万一漏洩があっても、公共用水域への流出・地下への浸透が防止できるコンクリート等の材質とする。
 - 皮膚にふれないよう、目に入らないよう、また蒸気を吸入しないように注意すること。
 - 必要に応じ保護具を着用すること。
 - 局所排気装置・全体換気については8. 暴露防止及び保護措置を参照。
- 安全取扱注意事項
- : ハロゲン類・強酸類・アルカリ類・酸化性物質・ナトリウム、カリウム等の金属・有機金属化合物との接触を避けること。
- 保管
- 安全な保管条件
- : 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類はアースをとること。
 - 熱、スパーク、火炎ならびに静電気の蓄積を避けること。
 - 保管場所の床面等は、万一漏洩があっても、公共用水域への流出・地下への浸透が防止できるコンクリート等の材質とする。
 - ハロゲン類・強酸類・アルカリ類・酸化性物質・ナトリウム、カリウム等の金属・有機金属化合物との同一場所での保管を避けること。
 - 直射日光・湿気を避け、換気のよい場所に保管する。
 - 火気・熱源から遠ざけて保管する。
- 安全な容器包装材料
- : 非該当

化学品の名称	メカファインメイト (A)
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2016年 8月23日

【8. 暴露防止及び保護措置】

許容濃度 [ジクロロメタン]	:	日本産業衛生学会 (2008年度版) ACGIH (2009年度版) TLV-TWA	170 mg/m ³ 50 ppm
[ブタン]	:	日本産業衛生学会 (2005年度版) ACGIH (2005年度版) TLV-TWA	500 ppm 800 ppm
[プロパン]	:	ACGIH (2005年度版) TLV-TWA	800 ppm 1,000 ppm
[酸化プロピレン]	:	ACGIH (2010年度版) TLV-TWA	2 ppm
設備対策	:	<p>蒸気の発散源を密閉する設備又は局所排気装置を設置する。蒸気は、空気よりも重いいため低いところに滞留しやすいので、吸引式排気装置を床面に近いところに設置する。</p> <p>液化石油ガスが漏えいし、滞留する恐れのある場所には、空气中のガス濃度が約0.5% (爆発下限界の約1/4) 以下で警報を発するガス漏れ警報器を設置する。</p> <p>指定された防爆の電気・換気・照明機器を使用する。</p> <p>静電気放電に対する予防措置を講ずる。</p> <p>取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。</p>	
保護具	:		
呼吸器の保護具	:	有機ガス用防毒マスク、陽圧自給式空気呼吸器 (火災時)	
手の保護具	:	保護手袋 (耐溶剤型)	
目の保護具	:	ゴーグル型等	
皮膚及び身体の保護具	:	耐溶剤型の労働衛生保護衣・労働衛生保護長靴・前掛け等	

【9. 物理的及び化学的性質】

外観	:	無色透明液体
臭い	:	微に甘い芳香臭
臭いのしきい (閾) 値	:	データ無し
pH	:	非該当
融点・凝固点	:	データ無し
沸点、初留点及び沸騰範囲	:	データ無し
引火点	:	なし
蒸発速度	:	データ無し
燃焼性 (固体, 気体)	:	データ無し
燃焼又は爆発範囲 (上限、下限)	:	データ無し
蒸気圧	:	データ無し
蒸気密度	:	データ無し
比重 (15℃)	:	1.30 g/cm ³
溶解度	:	水に不溶
n-オクタノール/水分配係数	:	データ無し
自然発火温度	:	データ無し
分解温度	:	データ無し
粘度 (15℃)	:	0.91 mPa·s

化学品の名称	メカファインメイト (A)
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2016年 8月23日

【10. 安定性及び反応性】

- 反応性、化学的安定性 : 安定。乾燥状態では、290℃でも空気による酸化や熱分解は受けない。
- 危険有害反応可能性 : 少量の溶解水は100℃以下でほとんど影響しないが、過剰の遊離水が存在すると60℃で加水分解が認められ、金属を腐食する。
180℃で水と長時間加熱すると、ギ酸・塩化メチル・メタノール・塩酸・一酸化炭素等を生成する。
- 避けるべき条件 : 溶接の火等、高エネルギーの火源を当てると爆発の危険性がある。
- 混触危険物質 : ハロゲン類・強酸類・アルカリ類・酸化性物質・ナトリウム、カリウム等の金属・有機金属化合物
- 危険有害な分解生成物 : 分解・爆発が起こると塩化水素等の有害ガスが発生する。

【11. 有害性情報】

- 急性毒性 [ジクロロメタン] : LD₅₀ 1,600 mg/kg (ラット経口)
LC₅₀ 18,000 ppm/4h (ラット吸入)
- [ブタン] : LC₅₀ 277,374 ppm/4h (ラット吸入)
- [プロパン] : LC₅₀ 38,890 ppm/4h (モルモット吸入)
- [酸化プロピレン] : LD₅₀ 930 mg/kg (ラット経口)
LC₅₀ 4,000 mg/kg/4h (ラット吸入)
- 皮膚腐食性/刺激性 : [ジクロロメタン] 区分2、[ブタン] 分類できない
[プロパン] 区分外、[酸化プロピレン] 区分2
- 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : [ジクロロメタン] 区分2A、[ブタン] 分類できない
[プロパン] 分類できない、[酸化プロピレン] 区分1
- 呼吸器感作性 : [ジクロロメタン] 分類できない [ブタン] 分類できない
[プロパン] 分類できない、[酸化プロピレン] 分類できない
- 皮膚感作性 : [ジクロロメタン] 分類できない、[ブタン] 分類できない
[プロパン] 分類できない、[酸化プロピレン] 区分1
- 生殖細胞変異原性 : [ジクロロメタン] 区分外、[ブタン] 分類できない
[プロパン] 分類できない、[酸化プロピレン] 区分2
- 発がん性 : [ジクロロメタン] 区分2、[ブタン] 分類できない
[プロパン] 分類できない、[酸化プロピレン] 区分2
- 生殖毒性 : [ジクロロメタン] 分類できない、[ブタン] 分類できない
[プロパン] 分類できない、[酸化プロピレン] 区分2
- 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) : [ジクロロメタン] 区分1 (中枢神経系、呼吸器)、
区分2 (気管支)、区分3 (麻酔作用)
[ブタン] 区分3 (麻酔作用)
[プロパン] 区分3 (麻酔作用)
[酸化プロピレン] 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
- 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) : [ジクロロメタン] 区分1 (中枢神経系、肝臓)
[ブタン] 分類できない、[プロパン] 分類できない
[酸化プロピレン] 分類できない
- 吸引性呼吸器有害性 : [ジクロロメタン] 分類できない、[ブタン] 分類対象外
[プロパン] 分類対象外、[酸化プロピレン] 分類できない

化学品の名称	メカファインメイト (A)
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2016年 8月 23日

【12. 環境影響情報】

生態毒性	: (水生環境有害性・急性) [ジクロロメタン] 区分2、[ブタン] 分類できない [プロパン] 分類できない、[酸化プロピレン] 区分3 (水生環境有害性・慢性) [ジクロロメタン] 区分2、[ブタン] 分類できない [プロパン] 分類できない、[酸化プロピレン] 区分外
残留性/分解性	: 難分解性
生体蓄積性	: 低濃縮性。動物または食物連鎖に蓄積されない。
土壤中の移動性	: 現在までのところ有用な情報無し。
オゾン層への有害性	: [ジクロロメタン] 分類できない、[ブタン] 分類できない [プロパン] 分類できない、[酸化プロピレン] 分類できない
他の有害影響	: 排出規制 (ジクロロメタン・油分)

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	: 使用後火中に投じないこと。使い切って捨てること。
汚染容器・包装	: 容器内の液を使い切り、ガス抜きをして捨てること。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。投棄禁止。

【14. 輸送上の注意】

国際規制	
国連番号	: 1950
品名	: エアゾール (容積が1L以下)
国連分類	: クラス2. 1 (引火性高圧ガス)
容器等級	: ー
海洋汚染物質	: 該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBCコードによるばら 積み輸送される液体物質	: 非該当
国内規制	
海上規制情報	: 船舶安全法に従い、積載・輸送を行う。
航空規制情報	: 航空法に従い、積載・輸送を行う。
陸上規制情報	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
特別の安全対策	: 容器毎に、栓の締め具合、漏れの無い事を確認し、容器の転倒・落下・摩擦等損傷が無い様に積み込み、荷崩防止を確実にを行う。

化学品の名称	メカファインメイト (A)
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2016年 8月23日

【15. 適用法令】

P R T R法 労働安全衛生法	:	第一種指定化学物質 (ジクロロメタン) 労働安全衛生法施行令 特定化学物質障害予防規則 特定化学物質 第2類物質特別有機溶剤等 特定化学物質特別管理物質 (ジクロロメタン) 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (ジクロロメタン、ブタン、酸化プロピレン) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (ジクロロメタン、ブタン、酸化プロピレン) 危険物・可燃性のガス
船舶安全法	:	危険物船舶輸送及び貯蔵規則
航空法	:	航空機による爆発物等の輸送基準等を定める告示
海洋汚染防止法	:	施行令
水質汚濁防止法	:	排水基準を定める総理府令
下水道法	:	施行令
廃棄物の処理及び清掃に関する法規	:	産業廃棄物規制

【16. その他の情報】

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。